

特 258

708

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5

103

美社神字解

落合直澄先生解讀

長野縣上伊那郡赤穂村美女森大御食神社神寶
日本武尊御通過御事蹟神代文字古記録

上下合卷

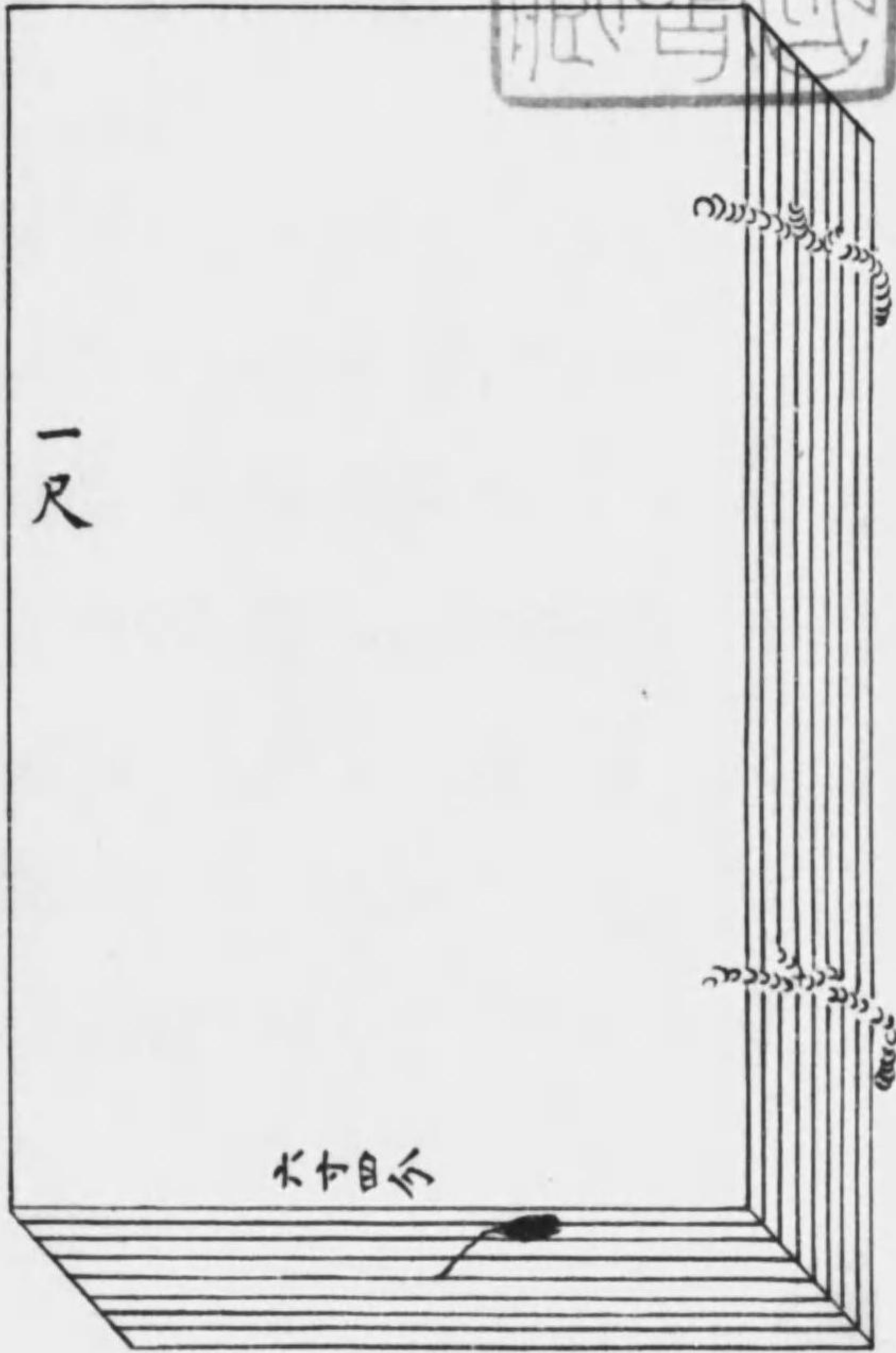
始



時258
706



桐板

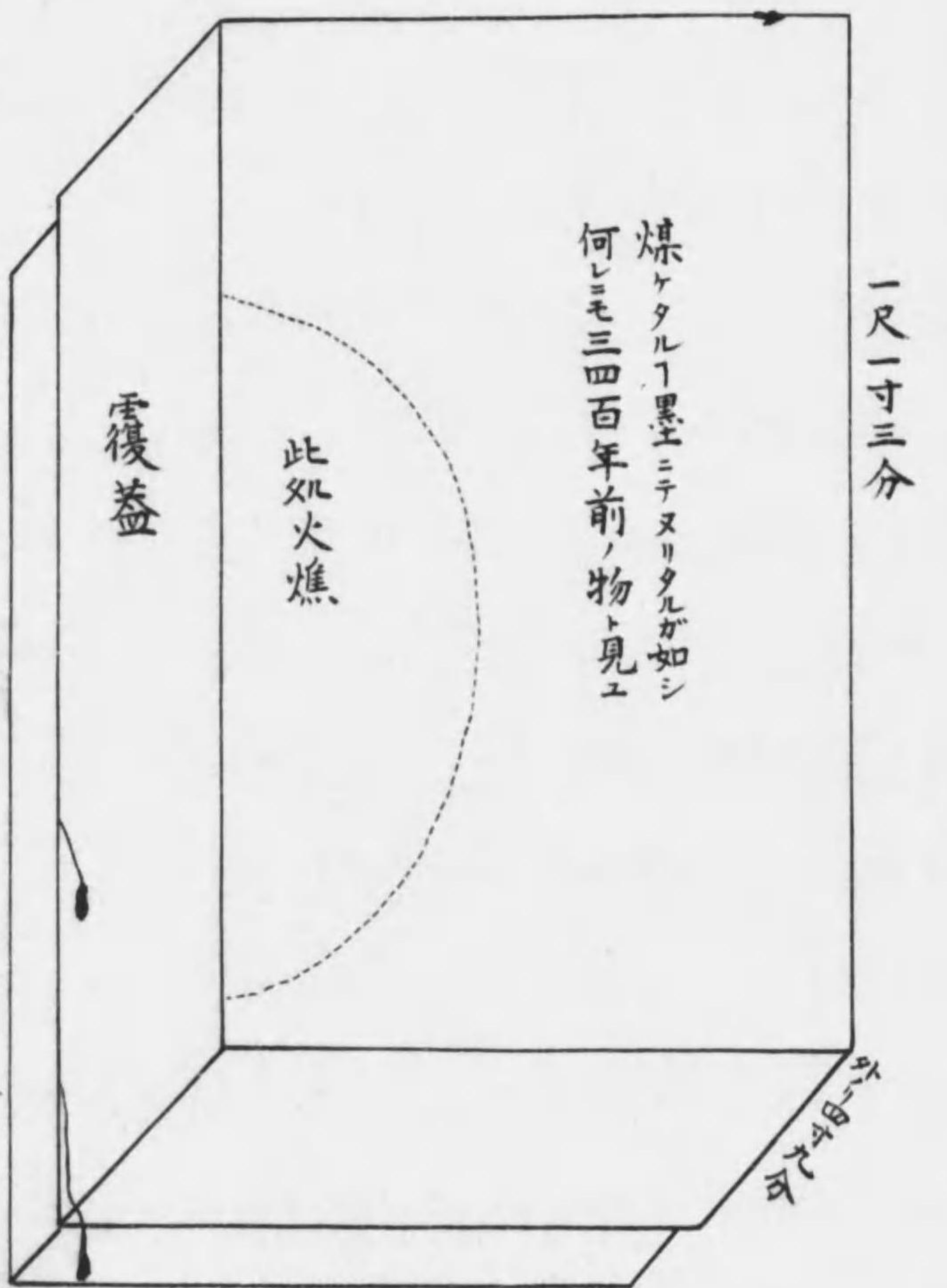


上冊九枚 惣厚サ一寸二分
但シ前後添板ニ枚ツ
下冊十枚 惣厚サ一寸九分

麻緒



筐
木ハ杉ト檜ト
ニテ造レリ



美社神字

落合一平解讀

マキムクノヒシロノミヤニアノノシタシロシメシタマ
 纏向日代宮天天下御給
 ヒシオホタラシヒコオシロワケノスメラミコトノミコ
 大足彦忍代别天皇御子
 ヤマトタケノミコトアツマノエミシラコトムケヤワシ
 日本武尊東夷等征和

タマヒテミスバカルシナヌノクニオミカエリマシシタ
給 水篤 莉信濃 國 御還 坐 給
マヒシトキニコノアカズノサトニイタリマシヌトキニ
ハカズヒコミカゲノスギノコノモトニカリミヤオマケ
赤須彦御蔭 杉 木 本 假 宮 設
八重管 菟 八重 敷 並 嚴 建 彦 御旗
建 並 甚 嚴 為 待 應 為 給 日 本

武 尊 迎 奉 日 本 武 尊
タケノミコトオムカエタマツリキヤマトタケノミコ
トミカゲノスギノコカゲスガシトノリタマヒテミ

御蔭 杉 木 蔭 清 々 詔 給 御
ヤスラヒタマヒヤマトタケノミコトモテノリタマハ

休 給 日 本 武 尊 問 詔 給
クイマシハタツヤコタエタマハクアコノヤシ

汝 誰 答 給 吾 此 国 魁
コノカミアチノミヤニイハイマツルオモヒカネノミ

首 阿 智 宮 齋 祭 思 兼 尊
コノカミアチノミヤニイハイマツルオモヒカネノミ

トノミコウシハタノミコトノハツコアシノミコトノミ
一ニルウシハタノミコトノハツコアシノミコトノミ
御子 尊 裔 尊 御

コアシヤマシミノミコトノハツコノシニハツコアカツ
コアシヤマシミノミコトノハツコノシニハツコアカツ
子 尊 裔 赤須

ヒコナリスノラミコトノミコイデマストキキムカエタ
彦也 天皇 御子 幸 聞 迎 奉

テマツリキエエニマサカキノヒトツエニカウツツ
故 真 神 一 枝 頭 槌 劔

ルギオカケフタツエニワヤツハナガタノミカガミオカ
掛ニ枝八花形御鏡掛

ケミツエニワニキタエオカケオオミマエニムカエタテ
三枝 和 布 掛 大 御 前 向 立

ナベムラギモノノマゴコロオアラワシマツリテミコトノ
並 真 心 見 奉 詔

リノマニマニマツロヒマツルミウケヒタテマツレリマ
隨 服 奉 御 誓 奉 又

タコレヨリオキニナガサワノクマワニヤマノアラモ
是 奥 長 澤 熊 罱 山 鹿 物

ノニコモノオトラシメカハトサチオシテカワノオ
和 物 取 令 川 幸 為 川 取

トノミコウシハタノミコトノハツコアシノミコトノミ

コアシヤマシミノミコトノハツコノシニハツコアカツ

ヒコナリスノラミコトノミコイデマストキキムカエタ

テマツリキエエニマサカキノヒトツエニカウツツ

ルギオカケフタツエニワヤツハナガタノミカガミオカ

ケミツエニワニキタエオカケオオミマエニムカエタテ

ナベムラギモノノマゴコロオアラワシマツリテミコトノ

リノマニマニマツロヒマツルミウケヒタテマツレリマ

タコレヨリオキニナガサワノクマワニヤマノアラモ

ノニコモノオトラシメカハトサチオシテカワノオ

ノカミコメテナカオヤオヤモイクコメテマタスノラミ
カミオトシシニニウツシウツシ川中ニシシシシシ
神 汝 親 々 又 天皇

コトノミコハメテエマノオツツニミルカゴトノグリテ
コトノミコハメテエマノオツツニミルカゴトノグリテ
御子 今 現 見 如 巡

イタキトオアマリイヤサカカエイヤシケリテアノモラズ
木ノ一ツクミカサカエイヤシケリテアノモラズ

抱 十 余 弥 弥 弥 繁 雨 漏

エクツエアリヤイナシラズクシビスギナリコノスギハ
引ツクエアリヤイナシラズクシビスギナリコノスギハ

幾 丈 有 知 奇 杉 此 杉
御食都彦 少女 獨 有名 押 姫 曰

ヤミケツヒコノオトノヒトリアリナオオシヒノトイウ
御食都彦 少女 獨 有名 押 姫 曰

ミコトイトメデタマヒテニコオハシマセリワカレニ
ミコトイトメデタマヒテニコオハシマセリワカレニ
尊 甚 愛 給 座 別

ヅミテエタヒテノリタマハクツタヨミヤヒタリネシカ
ヅミテエタヒテノリタマハクツタヨミヤヒタリネシカ

歌 曰 二 夜 婚 寐
歌 曰 二 夜 婚 寐

モアカズカモウツクシオトノハシケヤシイタチホ
モアカズカモウツクシオトノハシケヤシイタチホ

飽 美 少女 愛 立 廻
飽 美 少女 愛 立 廻

リハシケヤシオトノオシヒノイラエウタタテマツリテ
リハシケヤシオトノオシヒノイラエウタタテマツリテ

愛 我 大 君 御 手 纏 玉 持
愛 我 大 君 御 手 纏 玉 持

ハシケヤシワガオホキミノミテニマクタマモツヒネ
ハシケヤシワガオホキミノミテニマクタマモツヒネ

ワスラレズタマモツヒネコワスラレズアセオシノハハ
ワシ弗レタマモツヒネコワスラレズアセオシノハハ
忘 玉 持 忘 吾夫 標 延

アセオシノハハヘミケツヒコヒトビトモニヤマトタケ
ラシヨクモツヒネコワスラレズアセオシノハハ
吾夫 標 延 御食都彦 人 人 共 日本 武

ノミコトオオクリタマツレリ
中 尊 送 奉

ヤマトタケノミコトニヤスラヒシトキニササカナリイ
日本 武 尊 御 休 時 小 石

シトノリタマヒテミテオカケタマヒシエニミテカケ
第一の御手 詔 給 御手 拭 給 故 御手 拭

イシトナツクマタオホミケタマツリシトキニミサカ
川 石 名 又 大 御 食 奉 時 御 盃

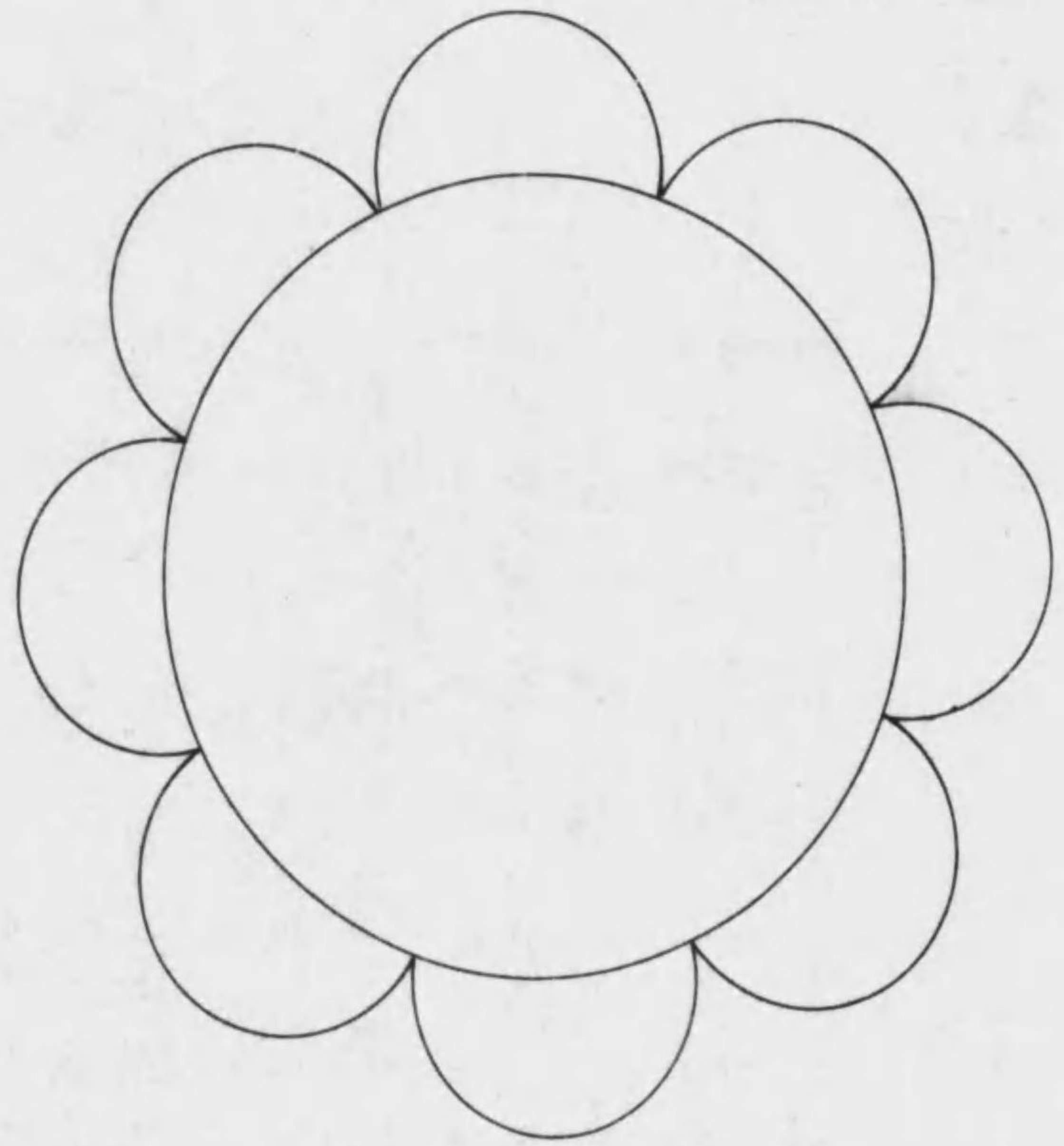
ツキオオキタマヒシエニヒラカイシトモオオス
置 給 故 皿 石 申

ミヤノカニワタケミナカノカニナリニクニヤ
神 建 御 名 方 神 也 御 国 巡

リノトキクシヒスギナリトノラセタマヒテメタマヒ
時 奇 杉 也 告 給 愛 給

シエニヒトノイツキマツルナリ
故 国 人 齋 祭 也

ヤツハナハ花
 ガクノミ形之
 カバミ御鏡
 スベワタ
 こもは川 惣渡
 リヤキ 八寸
 アマリ 余
 ういり



オホタラシヒコオシロワケノスメラミコトノミヨヤソ
 御代八十
 大足 彦 忍代 别 天 皇

シマリヤトセミケツヒコミカケノスギノコノモトニミ
 余 八年 御食都彦 御蔭 杉 木 本 御

ヤスライシソノカリミヤオカミノミアラカニミタテヤ
 休 其 假 宮 神 御 殿 見 立 日

マトタケノミコトオイハヒマツリテオホミケノヤシロ
 本 武 尊 齋 祭 大 御 食 社

トミナオツケマツリキ
 御名 附 奉

オキナガタラシヒコノミヨヤトセノアキハツキミカゲ
息長帯 御代八年 秋八月御蔭

ノスギカレニキシカレドモミカケスキノナカツエニオ
杉枯 然 御蔭 杉 中 枝 大

ホウツロアリスギノミオヒテノクリヒトイダキアマリ
虚 有 杉 實生 巡 一 抱 餘

ナルアリコリテオトシスノラミコトノイツトセノハル
有 伐 落 天 皇 五 年 春

ヤヨヒウエツキノミヌサマタソノスキノキトテミアラ
三月 植 継 御 術 具 杉 御 舎

カオミタテミワタリノカミヌサマタテマツリイカシタテ
見立 神 幣 奉

ホキミハタイカシクスカシクヤマトタケケノミコトノミ
彦 御 旗 巖 清 日 本 武 尊

タマオマツリタテマツレリオチノサトヒトチカキム
靈 祭 奉 遠 里 人 近 村

ラヒトウケツトヒサキノタノシノマニマニオホミキオ
人 打 集 先 例 隨 大 御 酒 大

ホミケアワノモチトクサクサノモノオササケタマツ
御 食 粟 餅 種 々 物 捧 奉

リテヨゴトホゴトオオオシナノカナナヨウタヒマヒエ
カニマツラムサハサハニホサハサハニサハサハニ

ラキタテマツリキソノアキタナツモノエタケクミノ
其秋穀 豊 實

リマタヒコハエノイネサハニミノリテエタケシイエイ
又 稻多實 豊 家々

エノヒトヨロコヒタヌシマイウタヒテオホキミノ
人喜 樂 舞 歌 大君御

ヨモヤスケクタクヒシキヤユタケクミトシサワナリラシ
代安 穩 豊 御稻多

ロキクモミロキモノココロノマニサハサハニカ
大酒黒酒 心 隨 多 多 神

カニマツラムサハサハニホサハサハニサハサハニ
奉 多 多 大 多 多 多 多 多

オトノコヤオトリトイウニカカリテイオクアラレワヤマ
一十ウシヨ一ウ一川一也
弟子 云 託 曰 吾者 日

トタケノミコトナリオハリノクニナルイツイラツヒ
本武 尊 也 尾張 国 巖 色 姫

トトモニスミムカエマセヨマタオトメノトコノ
一一又ニミムカエマセヨマタオトメノトコノ
共 住御對 坐 又 少女 床

ワガオキシツルキノタチソノタチハヤトイヒテヤシロ
我 置 劔 太刀具 太刀 云 社

オメクリノクリタリヨリテミケツヒコノハツコミツ
巡 巡 因 御食都度 初子瑞武

ケヒコアキノミマシシマタケクシアチシマノサトニ
度 武 大人阿智島 里

スミオホタケヒコトハカリテアキフツキハツカマリ
大 武 度 議 秋 七月 廿 日 餘 二

タヒトイウヒオハリノクニアツタノミヤヨリクサナギ
日 云 日尾張 国 熱田 宮 草 薙

ノミツルキノミタマシロマタウツクシノモリニマス
御 劔 御 靈 代 又 美 社 坐

ヤスヒメマツルヤノミナハ川イオムカエマツリテトコロ
姫 迎 奉 所 名

オウツクシノモリトミナオハセマツルアツタノミヤヨ
のこゆつた十のひるひもつるひつりつた十のひる
美 杜 御名負 奉 熱田宮

リムカエタテマツルソノヨソホヒハイカシタテヒコヒ
迎 奉 其 装 嚴 建 彦 日

ノミハタツキノミハタオホヒフスマミサカキニユフト
十の白ひりて十の白ひりてのひるひつりつた十のひる
御旗 月 御旗 覆 衾 神 木綿取

リシテテムカエタテマツレリマタサキノタシノマニ
のひるひつりつた十のひるひつりつた十のひるひ
下 壘 迎 奉 又 先 例 隨

マニオクロキオシロキハタオホミケクサクサノモノオ
多のひるひつりつた十のひるひつりつた十のひるひ
黒 白 旗 大御食種々 物

ヤマナスゴトクソナエマツリテオチノサトヒトア
ウツルヒツルノワケミタマオマタワブノサトニヤツ
山 成 如 備 奉 遠 近 里 人 集

トヒナナヨナナヒウタケノトノオチマツリキ
のひるひつりつた十のひるひつりつた十のひるひ
七 夜 七 日 宴 宿直 奉

オナシスノラミコトノミソジマリココノトセノアキフ
のひるひつりつた十のひるひつりつた十のひるひ
同 天 皇 三十 餘 九 年 秋 七

ツキミツルルノワケミタマオマタワブノサトニヤツ
のひるひつりつた十のひるひつりつた十のひるひ
月 分 靈 上 穂 里

キノミヤト イハヒマツリキマタオナジスメラミコ
のひるひつりつた十のひるひつりつた十のひるひ
齋 祭 又 同 天 皇

仁徳

キオホミケクサクサノモノオササケマツリテミヨミヒ
酒大御食種々物捧奉三夜三日

ウタマツリキ
シノミヨリノ

オホササキノスノラミコトノミヨトセノハツキミテ
大雀天皇 御代四年八月御食

ツヒコノハツコヤタマヒコハタカクキリノサトヒト
都彦初子彦片桐里人

トモニハカリテスハノヤシロニマスタケミナカタノカ
共議諏方社坐建御名方神

ミオムカエマツリテイワヒマツリキ
迎奉齋奉

オナジスノラミコトノミヨハタトセノアキフツカヤタ
同天皇 御代二十年 秋二日

マヒコスハノヤシロニマスタケミナカタノミコトオム
彦諏方社坐建御名方命迎

カエタテマツリテナカサワノサトスカヌマノスカキヒ
奉 中澤里菅沼清所一

トトコロマタタキレカハノスカキヒトトコロマタ
一ノアタハシシシシシシシシシシシシシシシ
所又激川清所一所又石

ソネノサトノスカチフタトコロハタココタギレノサトノ
 曾根里 清野ニ野 将小田切里
 スカチヒトコロハタミヤタノサトノヤマノオノスカ
 清野一野 将宮田里 山尾清
 チヒトコロアハセムトコロニホコラオクテイハヒマ
 野一野 合六野 祠起 齋奉
 ツリキノトキヒルヨルサトサトノエラキウタケコエ
 其時晝夜里里 笑歌 志
 ヨモニトヨモセリ
 四方響音

九恭

オアサツマワカコスクネノミコトノミヨイットセノア
 雄朝津間稚子宿禰 尊 御代五年 秋
 キフツキトマリヒトヒヨリアラカストキアノフリテイ
 七月十餘一日 雨降 五
 ツカイツヨキヨリテオヤマズエエニヤソウハツヒコオ
 日五夜来寄 止 故 八十上都彦大
 ホミケノヤシロノカミノミマエニミイノリスルニカミ
 御食社 神 御前 御祈 為 神
 ッゲテノリタマハクオホクサノサトクウシニマスカ
 告 告 大草里 黒牛 坐風

セノカミミノタタリナリコノカミザネオマツラバオタヒ
シヤノヤノタタリシノコノカミザネオマツラバオタヒ
神 崇 也 此 神 實 祭 穩

ナラムトオツツニノリタマエリコレモオサオサシキコ
ル井ノ一ツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツ
現 告 給 是

トナリトテオホクサノサトノオサタケヒコハタイワ
一ハタヒシツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツ
也 大草 里 彦

ハタアチノミヤヌシウシタリヒコトトモニハカリテク
白アアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア
阿智 宮 主 牛 足 度 共 議 種

サクサノモノオササケマツリテタタエコトマオシタマ
比ヤキヤノサキハシタマツリテタタエコトマオシタマ
種 物 捧 奉 稱 言 申 給

ヒシカバカゼナギアノヤミテオタヒニナリケリナヌカ
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
風 和 雨 止 穩 成 七 日

ノツギノヒソラハレテヒノミカゲアキラカナリウキツ
ヤノノ十ツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツ
次 日 空 晴 日 御 影 明 也 打 集

ドヒシヤトサトミソシマリフタサトノヒトビトナリソ
ルるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
里 里 三十 餘 二 里 人 々 也 其

ノマツリシトコロオミアエトトイウナリ
十冬ノ一ツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツ
祭 所 御 饗 所 去 也

オホハツセワカタクノミコトノミコトマリヨトセノ
比三白ツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツツ
大 泊 瀬 雅 武 尊 御 子 十 餘 四 年 冬

三代 敏達

ユカミナツキイツカニケヨロツヒコオホミケノヤシロ
ウロクナツク川ノミヨクニヤクノミヨクニヤシロ
十月五日御食 彦大御食社

ノヤネノソソギオオキナヒマツリテサキノタノシノマ
ナツクヤクノソソギオオキナヒマツリテサキノタノシノマ
屋根 補 奉 先 例 隨

ニマニミアハマツリテヒナマカヨナマカオオチコチノサ
又ハミエ工旨ハヨクニヒナマカヨナマカオオチコチノサ
隨 御饗 奉 日七日夜七 遠 近 里

トヒトトモニエラキマツリキ
一の一一の又ハミエ工旨ハヨクニヒナマカオオチコチノサ
人 共 笑 奉

ヲナクラフトタマシキニコトノミヨトマリヒトトセ
御仲倉 太珠敷 尊 御代十餘一年

ノハルヤヨヒアキノミヤカハアヒナソコナヒヤブレリ
十白ツツルハヨクニヒナマカオオチコチノサ
春 三月 阿智 宮 損 破

エニミアラカオアラタノツクリテオナシトシノアキ
又ハミエ工旨ハヨクニヒナマカオオチコチノサ
御舎 改 造 同 年 秋

ハツキナマカヤコオモヒカネノミコトオアチノミ
八月七日八意 思 兼 尊 阿智 宮

ヤマシヤツハワケノウシオホミケノヤシロオホタリア
ヤメシヤツハワケノウシオホミケノヤシロオホタリア
主 別 大人 大御食 社 大 足

シツヒコトトモニカムミタマオオウツシマツリテオホ
シツヒコトトモニカムミタマオオウツシマツリテオホ
彦 共 神 御靈 御移 奉 大

マリイツカヤマトノクニカスガノミヤシロノマツリヤ
ハシキヤクニシロノマツリヤ
五日大和国春日御社祭 鑄

フサメキシヤオウツシテオホミケノヤシロミマツリニ
矢騎射 移 大御食 社 御祭

ミヤノハラニテヤフサメノノリエミノキシヤオオコナ
宮 原 鑄 矢 法 弓 騎射 行

ヒハジム
の自
始

ヤウセイトムノフノミヨケムケイミトセノハルヤヨヒ
陽成天皇 御世元慶三年 春三月

トマリイツカヤマシロノクニイワシミツヤハタノミヤ
一ノ川ヨリヤシロノクニイワシミツヤハタノミヤ
十餘 五日山城 国 石清水八幡 宮

ヨリアカスヒコヤハタノミカミオムカエマツリテウツ
ハシロノクニイワシミツヤハタノミヤ
赤須彦八幡 御神 迎 奉 美

クシノヤシロノアヒトノニイワヒマツリタノシノマ
ヤシロノクニイワシミツヤハタノミヤ
社 相殿 齋 奉 例 隨

マニオホミキオホミケクサクサノモノオミアエマツリ
大御酒 大御食種々 物 御饗 奉

テナヲカナナヨウタヒマヒウタケマツリキ
七日七夜歌 舞 宴 奉

終

